



津波避難にかかる時間を検証

津波避難訓練が3月12日、市内で実施されました。2月に完成した池新田地区津波避難タワーでは、市や消防の職員約25人が、徒歩やけが人を背負った状態、担架に乗せた状態での避難を想定して避難にかかる時間を計り、課題を検証しました。



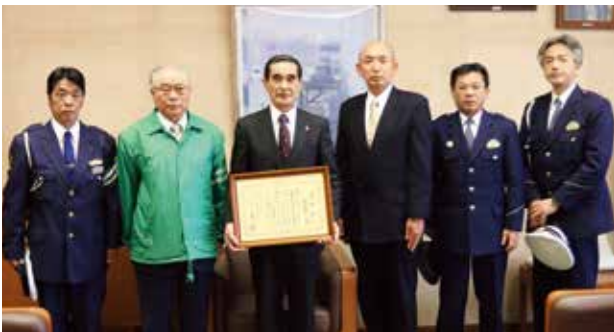
大切な家族の冥福を祈る

市動物保護協会は3月16日、正福寺で飼い犬の慰霊祭を執り行い、愛犬を亡くした飼い主ら約40人が参列して冥福を祈りました。併せて、他の模範となる飼い主として認定された12人が同協会から表彰されました。



高い交通安全意識により受賞

市内で交通死亡事故が連続500日発生しなかったことを受けて3月17日、市は県交通安全対策協議会から「交通安全優良市町」として表彰状を授与されました。柳澤市長は「各機関や市民と協力してさらに日数を伸ばしたい」と話しました。



記念切手で左馬助公をPR

井伊直虎の伯父である新野左馬助公をPRするため、オリジナルフレーム切手が作られ、引渡式が3月17日、市役所で開かれました。切手を受け取った柳澤市長は「この切手が使われ全国に届くことで、多くの人に左馬助公を知ってほしい」と話しました。



手話言語条例で共生広げる

市手話言語条例の制定が市議会で認められた3月23日、市身体障がい者福祉会、手話サークル太陽の会の会員ら24人が柳澤市長を訪れました。同福祉会ろうあ部長の天野泰世さんは「街中で手話で会話できることに期待したい」と話しました。



鈴木行雄さんの長寿を祝う

3月15日に100歳の誕生日を迎えた鈴木行雄さん(上朝比奈)を3月27日、柳澤市長が訪ね、祝い状や花束を贈り長寿を祝いました。新聞を読むことが日課だという鈴木さんは「まだまだやりたいことがいっぱい」と笑顔で話しました。

